に、戀を多よめり、

高島浦あふみ、紅葉、

田籠浦なすと、松、五月雨、なみのぬれぎぬ、早苗ほのけぶり、あま霧、春駿の河の浦人なるたごのうら涙たゝぬ日はあれにほも君を戀ぬ日はなし、已上するが也、又越中の田子のうらの庭さへにほふ藤なみをかざしてゆかんみぬ人のため、

多留姫浦越中たるひめのうらこぐ船のかぢまにもけふの日はたのしくあそびおもへ、舟こぎめぐりた

瀧浦大和よし野川河波高し瀧のうらをなみすかへりけん戀しくなへに、是宗祇法師注たる物にあり、さこそあるらめ、名仁のしたるこをなれば、不レ及二是非一歟、又無二不審一にもあらす、若瀧の裏と云ふ心歟、

袖師浦出雲、みのめにつもたまらぬ涙、或云、伊勢、

そこひの浦未勘、ごとく君にこふるなみだのか

袖浦出羽、左右にもあま衣みるめはかもるなもかくらむ、返す衣玉もかりほす、涙の床にふるしほたれもしらぬ、納涼、松、君こちぞしぬべきもの、袖浦は岩ほ成共、

津守浦攝州住吉郡、大船、月、宮、各戀こぬ夜つもり、松年、恨、うきとあまくだる神あま、雪、老の波、紅葉、神代より、すみよけのつもり、あびきのを、

角浦石見、しいはみこそみらなし、人の海の、つの、うらはをう

角鹿浦ふつ中

根蓐浦丹後

れば心くるとけなきれぬなわるべしなくるもみゆなの浦

難波浦攝州、梅、あさり、釣舟、ひとつ橋、蘆刈、是はあしきに宮木引にあつせたる也、うらみ、みのあま、あしのうきれたくの柚、うきめ、こと、うらにすむ月、千鳥、たづ、網手引、なだのを舟、みぞれ、あしのうらは、時鳥、あしのやたるわたるなにはのこと、螢、なにのは火、あしのまの、しのやのかりの世、雪、なにはめ、いそなし、びかた、なにはとこ、もしほのいけこまの入江、あ、

名高浦遠江、なひむらさきもまきなごちに袖のみぬれて、紀州有二同名一、きの國の名高のうらのなのりそのいそぎなびかん時まつわれら、紫の名高のうなみのうらをぬとたかしかもあはゆこゆへに、月、

名立浦攝州、かつきすぎぬ名たてのうらのあま人は波のぬれぎぬいく代きぬ、ら、む

繩浦同上

名佐可浦みちひたちなるなさかのうらに鹽の島こぎしまふ舟はつりをすらしも、彌陀國、

奈吳浦ふつ中、又つの國、つまり、よる貝、戀、あま人、

長居浦つの國、千鳥、君が代のさゝめすつべらき、月、忘草、ふなとゝめれ石、鶴、

夏身浦紀州つみのうるしまのなく、氷、月、いさり、あさこぎ、海中に鹿ぞ鳴、

長濱浦能登ばは長はます、のうの海にあさびらきしてこぎくれわみのあひだもをきておもはなくに、

なゐの浦未勘、但攝州歟、

長柄浦つの國、あし火たく、

鳴門浦すわう、又阿州、しほの音、玉も、音に聞ゐの嵐吹伊駒の山に雲晴てなるとの浦にかつきするあまよわびすめる月かげ、

長門浦あさなぎに、みちく、

鳴尾浦つの國、秋、にさむぐなるお、

鳴海浦尾張、恨、はつまあしきめをみすきるあま人、松風、擣衣、ひゞき、ひざ、うま

武庫浦つの國、入江のすむ、石、千鳥、戀、ひ

室浦はりまのいそこのうらにこぎまふ小舟

せ貝、あぢむら生る、めうのすむ、石、千鳥、戀、ひくしほ、たづ、月、いくなるみのとうたへり、

食するあまの釣舟、神のめぐみ、鹽ひがた、磯なのむろの木、戀、むこのうらにこぎまふ小舟

あましまのむろにみつゝともしきを船

かはりまのいそこのうら涙にぬれぬらんかも、千